

ふるさと探訪

第32回 アクアトピア



神拝の観音水の泉から湧き出す豊かで清らかな水は、多くの市民が生活を営む市街地の中心部を流れ、市民生活を支えるとともに雨水排水路としての役割も果たしてきました。

しかし、高度成長期の工業の発達や市民の生活様式の変化などに伴い、水質汚濁や土砂・ヘドロが堆積するようになり、かつての清流の姿が失われていきました。このような状況の中、市民からも「水の都」の復活と快適な環境を求める声が高まり、市では昭和60年度に当時の建設省からアクアトピア（親水都市）の指定を受け、昭和61年度から4年間公共下水道雨水路整備事業の一環として、ウォーター・スクウェア・プラン（下水道水緑景観モデル

事業）とアクアトピア事業を並行して行い、観音水系の2・4 kmを整備しました。事業に際しては、特に水の都という特殊性を考慮し、自然に近い形で整備することを基本に、親しみのもてる場所となるよう市民からのアイデアを募集するなど、市民と行政が一体となった取り組みが行われた結果、清らかな水が流れ、市民が集う、憩いの水辺空間が復活しました。

現在では隣接地に総合文化会館や総合福祉センターも建設され、施設利用者の散策道としても親しまれています。



花がいっぱいの春のアクアトピア水系 ▲

総合福祉センター横の散策道 ◀

手づくり郷土賞大賞の受賞要因となった市民による清掃活動 ▶



▼人口のうごき

人口 115,650人 (-1人)
 男 55,414人 (-10人)
 女 60,236人 (+9人)
 世帯 46,980世帯 (+3世帯)

平成19年11月末日現在
 住民基本台帳登録数()内は前月比

▼テレホンサービス

- 市政だより 0897-53-1500 (常時)
- 当番病医院 0897-58-2200 (常時)
- 災害情報 0897-55-5551 (発生時)
- 民話テレホン 0897-52-1270 (常時)

▼編集後記

冬は寒くて辛い季節ですね。でも、冬の冷たい空気は気持ちを凛とさせてくれ、気を引き締めて毎日を過ごせないと、自然が戒めてくれているようにも思います。

先日或る人が「小さいことは偉大なことだ」と話してくれました。人間は地球や自然と比べれば、本当に小さな存在に過ぎない。しかし、小さいからこそ大きなものにとってはたわいないことに感動できたりするものだと聞かされ、何事も捉え方次第で前向きになれるものだと改めて感じました。

新しい年を迎え、前向きにチャレンジする精神力と体力を養わねばと、気持ちも新たにしています。

読者の皆さん。今年もよろしくお祈りします。(た)



西条バードウォッチング

Saijo Bird Watching

No. 29 ベニマシコ (冬鳥)

冬鳥として山麓の低木林や草むらに渡来し、枯枝の中を移動しながら草の実を食べています。姿を見つけにくい鳥ですが「フィッフィツ」という独特の鳴き声を頼りに、紅色の美しい雄を見つけた時の喜びは格別。西条では黒瀬ダム周辺や西山興隆寺などで見られます。



撮影：十亀茂樹